

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN

REFORM MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



“壁紙の張り替え”でおしゃれな部屋に！ リフォーム で壁紙やふかし壁を導入する際のポイントは？

家のなかでも面積が広く目線に入りやすい壁面は、部屋の雰囲気左右する重要なパーツです。たとえば壁紙が色あせていると、家全体が古びて見えてしまいます。

そのため、部屋のイメージを変えたい場合は壁紙のリフォームが効果的といえます。ただ、壁紙を張り替えるにしても、どのような壁紙を選べばいいのかわからないという方もいらっしゃるでしょう。

そこで今回は、壁紙張り替えに関するポイントと選び方、そしてさらにおしゃれな部屋、ホテルライクな部屋を目指したい方向けに、ワンランク上の自慢できるリフォーム用壁材についてもご紹介します。

部屋の雰囲気を一変！ 壁紙を選ぶときのポイントとは？

壁紙（クロス）を選ぶ際、どのようなものを選んでいいのかわからないという方もいることでしょう。なんとなく好みはあるものの、何を基準に選んで良いものか迷ってしまう方も多いのではないのでしょうか。まずは壁紙選びのポイントを抑えておきましょう。

●どのような部屋にしたいのかをイメージする



まずは全体的な部屋の雰囲気をイメージすることから始めてみましょう。シンプルで明るい部屋、シックで落ち着いた部屋など漠然としたイメージでも OK です。うまく思い浮かばない場合は、自分好みのインテリアの実例を雑誌やウェブサイトなどから探して参考にしてみるのもひとつの手です。全体的なイメージさえ決まれば、壁紙も選びやすくなります。

何を参考にすればいいのかわからないという方のために、DAIKEN では多彩なインテリアスタイルの中から自分好みのものを見つける際に便利な「11 のインテリアテイスト」の提案をしています。全体のイメージづくりや色選びの参考に、ぜひこちらもお役立てください。

⇒「インテリアテイスト記事一覧」はこちら

https://www.daiken.jp/reform/tagtop/interior_taste/

●床やドアなど建材との色・柄のバランスを考える

壁紙を張り替える場合は、部屋全体の色のバランスを考慮することも大切です。はじめに決めたイメージにあいそうな壁紙の中から、既存の床・天井・ドア・インテリアなどの色味と相性が良いと思われるものを選びましょう。

部屋を広く見せたい場合は、膨張色と呼ばれる白やベージュ・暖色系の壁紙を選びましょう。逆に黒や寒色系は収縮色と呼ばれ、落ち着きを得たい寝室などに向いています。



白色の壁紙と黒色の壁紙の比較（※イメージ）

色の濃いものや個性的な柄の壁紙は、部屋全体に使用するとうるさく感じてしまう可能性があります。その場合、部屋の一壁面のみ張る「アクセントウォール（アクセントクロス）」として使用すると、空間にアクセントが加わり、より個性的な部屋を演出できます。



●大きいサンプルで色や模様を確認する

壁紙は、実際に壁に張ってみると想定していたイメージと違う雰囲気になってしまうこともありますので、事前にメーカーに壁紙のサンプルを請求してチェックしておきましょう。小さいサイズのサンプルだと、壁一面に貼ったときのイメージがわかりづらいので、できるだけ大きいサンプルを入手し、色や柄・質感確認しましょう。

●壁紙の張り替え作業はプロにお願いした方が無難

壁紙をDIYで張り替える方法がインターネットなどでよく紹介されていますが、実際に行うとなると、かなり大変な作業です。時間も手間もかかるうえ、初めての作業で壁紙をきれいに張るのは難しく、一人で作業する場合はさらに難易度が上がります。仕上がりを妥協してでもDIYを楽しみたい・コストを少しでも下げたいという方なら良いですが、壁紙をきれいに仕上げたいなら、できるだけプロに依頼することをおすすめします。

お部屋をさらにグレードアップ！スタイリッシュなデザイン壁

壁紙の張り替えについて簡単に紹介してきましたが、もっとこだわりたい方にぜひ見てほしい部屋の画像があります。



通常の壁紙では表現するのが難しい、ホテルライクでおしゃれな壁が目を引きまますよね。周囲の壁よりやや手前に設置された、立体感のある意匠性の高い壁材と、その左右から漏れだす間接照明による柔らかな光の演出がとても魅力的です。

このような洗練された壁面の演出を自宅でも実現できるとしたら、ワクワクしてきませんか？

使用されているのは、DAIKEN のデザイン壁材で『ハピアウォール デザインタイプ デザインパネル <ウェーブ柄 (リアーピホホワイト) >』という、陰影を楽しめる立体デザインが魅力の壁材です。

そして、本来の壁より手前に新たな壁を設置する演出を「ふかし壁」といいます。

ふかし壁とは、壁の仕上げ面に凸凹をつけることで、より空間に奥行や立体感をもたらす施工法です。たとえば、凹型の壁面を利用してちょっとしたディスプレイ代わりにしたり、間接照明を設置したりすることで、お部屋をよりドラマチックに演出することもできます。



DAIKEN ならふかし壁の設置用の専用部材も用意されているので、導入もしやすくおすすめです。

ふかし壁については下記の記事もあわせてご覧ください。

⇒ [「おしゃれな部屋に早変わり！ “ふかし壁”って知っていますか？」](#)

それでは、DAIKEN のデザイン壁を導入した部屋の例をいくつかご紹介します。



ゆったりと落ち着いた雰囲気できつろぎたい寝室には、『ハピアウォール デザインタイプ デザインパネル<サーフ柄 (リアーピライト) >』をヘッドボード一面に。穏やかなさざ波のような壁紙の立体的な質感が、心を静めリラックスした雰囲気をつくってくれます。光の入り加減によって表面に美しい影が落ち、部屋をドラマチックに演出してくれるのも魅力的です。



こちらは反対に凹面で魅せる門型のふかし壁例です。ホワイトをメインとしたエレガントな空間に、立体的な表面のデザイン壁『ハピアウォール デザインタイプ デザインパネル <ダイヤ柄（モノホワイト）>』を配し、クラシカルな雰囲気にもダンな要素を加えています。

立体感のある壁面により一枚の絵がぐんと引き立ち、まるでギャラリーのような雰囲気をつくりあげています。

さらにリアルな陰影と素材感を出せる！『グラビオエッジ』の魅力

さらにインパクトを出したい方は、DAIKENの『グラビオエッジ』もおすすめです。



『グラビオエッジ』は深彫り調のエンボス加工によりエッジの効いた陰影と素材感を演出できる、意匠性の非常に高い不燃壁材です。

シャープな凹凸のグリッドデザインが美しい『ピアンテ』、砂岩がモチーフのレンガ積み調デザイン『ブロッコ』、流れ石がモチーフの傾斜したリズムカルな陰影が魅力の『フルッソ』、大谷石がモチーフの重厚感がある大きなピースデザイン『カルセ』、織物生地がモチーフの柔らかさを感じる乱積み調デザイン『カーヴァ』の5種類があり、どれも壁紙では表現できないリアルな質感・立体感を楽しめます。防火性に優れた『ダイライト』を基材にしているため、生活に安心感もプラスできます。

個性的な『グラビオエッジ』は、お部屋の一壁面を彩る「アクセントウォール」に使うことで、より洗練されたお部屋を演出することができます。



たとえば上記の画像は、お部屋で最も目線を集める壁面に、乱積み調デザインの『グラビオエッジ カーヴァ<ベージュ>』をアクセントウォールとして取り入れた例です。両サイドからの関節照明により、織物生地をモチーフとしたやわらかさを感じさせる壁面がひととき立体的な陰影を演出します。ホテルライクなラグジュアリー感あふれる自慢のインテリアがより映える、ワンランク上の洗練された空間を演出してくれます。



こちらはテレビを設置した壁面に、額縁型のふかし壁を施した例です。シックなカラーの天井パネルや建具に合わせて、ベースに石目調のデザイン壁『グラビオエッジ ブロック<ライトグレー>』、凸型にぬくもりのある木目調の『ハピアウォール デザインタイプ 壁パネル<リアーピ (ダーク) >』の異素材を組み合わせています。

夜には凸面に設置した関節照明によるライトアップ効果で、どこか幻想的な雰囲気さえ感じさせてくれます。

毎日なにげなく目にしている部屋の壁ですが、壁紙や壁材リフォームをすることで、部屋の雰囲気をガラリと変えることができる重要なポイントであることがおわかりいただけたと思います。

DAIKEN では、今回ご紹介した壁材の他にもさまざまな色柄や質感、機能性の壁材をご用意しています。張り替えやリフォームをお考えの方は、ぜひカタログやお近くのショールームでチェックしてみてください。

【関連リンク】

DAIKEN ショールーム

<https://www.daiken.jp/sr/>

※記事掲載時点の情報と、各ショールームの展示製品が異なる場合がございますので、あらかじめ各ショールームにお問い合わせ・ご確認のうえ、ご来館ください。

【DAIKEN リフォームマガジン 2020年10月号掲載】